
EVOLUTION - 進化という名の暴走 -

謎の生物

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

EVOLUTION - 進化という名の暴走 -

【Nコード】

N9423X

【作者名】

謎の生物

【あらすじ】

10年前、母親を亡くして天道家に来て、俺、天道光の妹となった可憐。しかし10年経った今になってその母親が生きているというふざけた手紙によって、伊豆諸島の小島の1つに建てられている怪しげな研究所に行ってしまう可憐。

1週間近く何の音里も無い妹が心配になって通っている高校の生徒会兼部の仲間の美少女3人と共にその研究所に行くが、そこで待っていたのは想像を絶する戦慄と恐怖そして命を掛けた戦いだっただ。孤島に建っている怪しげな研究所を舞台にゾンビ、謎のモンスター

ー達を相手にしながら妹を探し出して脱出を目指すサバイバルホラ
ーアクションモノです。

ファイル1 事件の発端 (前書き)

というわけでバイオっぽい内容の物語です。といってもそこまですごくできたモノでもないなので気楽に読んでください。

ファイル1 事件の発端

その日は今でも鮮明に覚えている。10年前の暑い夏の日だった。俺、天道光てんどうひかるの前に突然、目の前に現れた女の子。

異民族の血が混じっていると思われる亜麻色の髪をなびかせて俺を見る。

俺を見つめ、「なんさいなの？」と尋ねた。それが俺とこの女の子との最初に交わした言葉だった。

「よろしくね。おにいちゃん。」

そして彼女、可憐かれんは天道可憐てんどうかれんとなり俺の妹となった。

何でもすでに父親はおらず、たった1人の肉親である母親も不慮の事故で亡くし、1人になってしまった。

俺や俺の親父は遠い親戚にあたり、他に身寄りのない可憐は、この天道家に引き取られてきたのだ。

正直、最初は戸惑いもある上に、見た目もかなり可愛かったので照れくささもあった。

ひよつとしたらそれに、親父が自分だけのモノでなくなる不安もあつたかもしれない。

だが、そんな些細な不安も月日の流れと共に打ち消されていき、寧ろ可愛い妹が出来てちよつと幸せを感じる事もたまにあつた。

それから10年後の今、現在、すでに俺の親父も3年前に可憐の母親の元に行つてしまい、それからは兄妹2人で過ごしている。

幸いにも親父は、結構な金と家を遺産として残してくれたので生活に困る事はなく、俺達は2人とも同じ高校に入学し、可憐は2年俺は3年となつて1学期がつい2日ほど前に終わった。

正直に言おう。俺はこの高校3年最後の夏は何か起きないかと期

待している。特に恋愛面で・・・。

俺は今現在の高校に入って結構のほほんと過ごしてきたが、何の因果か1年の後半に生徒会に入る破目になったのだが、それが縁で今は卒業して地元の大学に通っているクールビューティーな感じの先輩である生徒会長や、いささか無口でちよつと何考えているか分らないところはあるが、見た目はいい後輩と知り合えた。

それに俺と可憐、特に俺にとっては10年以上の付き合いがあるいわゆる幼馴染みと言う女友達がいる。天然系で些か頭は弱いが見はいい。それに妹の可憐

そんなわけでクラスメイトなどからは「リア充死ね」なんて言われているが、この中の誰かとロマンスになっていけば、それも当てはまるが生憎と誰ともそんな関係になっていない。

故にこの夏はこの仲の誰かと、理想的には全員と付き合い合えば最高なのだが、それはとても難しいので誰か1人でもいいので、今以上の関係になれないかと期待している。

しかしそれも妹の可憐の問題が片付いてからだろう。

「それでは行って来ます。お兄ちゃん」

「・・・ああ、気をつけて。用件は知らないけれども、片付くようならばさっさと片付けて帰って来いよ。」

「・・・うん」

3週間ぐらい前に可憐に手紙が来てから、何か可憐の様子が可笑しいのは気付いていたので尋ねてみたが、詳しい詳細は話してくれなかった。それにはちよつとショックだったが、ただ手紙の送り主は可憐に用があり指定する日時に、指定する場所に来て欲しいとの事だった。

そして今日、可憐はその用件のために出掛けて行ったというわけである。といつても場所は結構遠いらしくすぐに行って帰ってこられるようなところではなく、3、4日は掛かるらしい。

まあ逆に言えば4日ぐらいで帰ってくる様なのでそんなに気にすることではないだろうとこの時は思った。

しかし後々になって考えるとこの時、俺はどうして可憐に詳しく手紙の詳細を聞かなかったのかと後悔する事になった。そして同時に、これがこれから始まる圧倒的な戦慄と恐怖、そして命を掛けた戦いへの発端だったのである。

ファイル1 事件の発端 (後書き)

というわけで第1話です。これからまあこんな感じで物語を進めていこうと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9423x/>

EVOLUTION - 進化という名の暴走 -

2011年10月26日12時14分発行